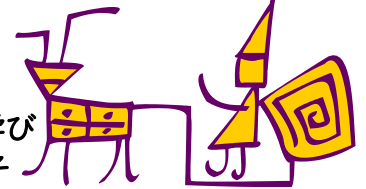




心も体も元気な岡村っ子

おもいやりもち、
かがやく自分を求めて、
むちゅうになって共に学び
みらいを創っていく子

冬休み号



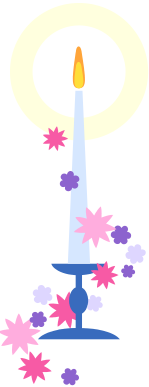
横浜市立岡村小学校・学校だより R4.12.23

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/okamura/>

岡村小学校で検索

掃除

校長 川村 真弘



社会科の学習で校長室を訪ねてインタビューしてくれた子どもがいました。なかなかの難問に回答を苦戦しましたが、「校長先生が大事にしていることは何ですか？」との問いに、素直にふと思いついたのが「掃除」でした。ある日教育委員会の会議に出席していた折にも「ベテラン校長として何を大事にされていますか？」との問いに対して、子どものインタビューをとっさに思い出し「掃除」と答えてしまいました。子どもは「はい」と迷い無く、大人は「はあ？・・・」と、啞然とする回答のようです。

私は出勤して朝一番に掃除をします。副校長、校長になってから約15年間続けています。机上が清潔、シンプルにすることで仕事のミスが減らすことを目的に始めたのですが、毎回「今日も一日みんなが元気で過ごせますように」「事故無く安全に過ごせますように」と自然体で祈るようになっていました。なぜでしょうか。不思議と自然に祈るようになっていたのです。

今朝も岡村小学校に到着する前に、岡村公園から富士山を眺めて気を引き締め、朝一番に掃除をしながら「今日も岡小の子どもも大人も元気で過ごせますように」と祈りました。掃除をすればその場所がきれいになり、清々しい気分になるからでしょうか。きれいに整えられた場所には、それに見合う成果があるものです。日本に「掃き清める」「すす払い」という表現があるように、掃除には、その場所を清める意味があると考え、見える所だけではなく、心の中へと通じる意味をもつとも言えそうです。掃除をして自分の居場所を整えることは、つまり、自分の心の中を清め、整えることにもなるのです。

同じように、きれいな家庭や職場は、そこで行われる家事や仕事の価値そのものが高まるように感じます。チリやホコリを放置せず、きれいに掃き、払う。きっと、清々しい気持ちになります。掃除は目に見えない心を映し出す「鏡」ともいえそうです。

自然や四季に恵まれた日本には多くの季節行事があります。季節行事は文化や伝統、地域の風習や家庭の習慣にふれ、由来や意味を知る機会にもなり、厳かで清々しい気持ちにもなります。まもなく年末、大晦日です。大掃除をして、新年をお迎えすることも滋味な興味だと思ふのです。

